



死ぬまでは元気で

(10組) 関 清一 氏

宇野千代さんは「百歳おいを知らず」というエッセイの中で、彫刻家の平橋田中さんのことを書いてある。

平橋さんが八十九歳のとき伊勢神宮から新馬を八体、頼まれた。人々、あの歳ではとても出来ないだろうと噂したが、平橋さんは「私は老人で急ぎ仕事は出来ないが一年に一本ずつ納めて、八年目に八体を完納しよう。」と言って、九十八歳で八体完納したという。

その話の後で宇野さんは斯う書いている。「私はあと幾年も生きられない。だから、そんな仕事は引き受けられない。」普通の老人はそう答えるに違いないが、生命力と言うものは、年齢では計れない。死は予測するものではない。たぶん平橋さんは「俺まじきに死ぬだろう。」とは考えない日常を送っているに違いない、と推測した後で、「年を取っても、いつも何か追いかけて行く目的があって、張り切っている状態であることが大事だ。」と述べている。確かにそうだと話しながら平橋さんのようにはいれないが、せめて気持ちだけはそう有りた。そして、死ぬまで元気でいけたいと願っているのである。

私は九十五歳、あと五年で百歳になる。それまで現状維持でいければ万々歳である。

俳句雑誌「多磨」は、昭和42年に創刊され、今年、600号に達せられた由、おめでとうございます。54年の歳月が流れ、その間幾度となく休刊を余儀なくされることも有ったとのこと。関氏は、「苦難を乗り越え今日があるのも、繋いで来たのは同人、会員の皆さんで、私には褒められるべきものは何も無い」と謙虚に仰られています。現代俳句を詠んで今日まで、年齢を感じさせない前向き思考に感服いたします。

創刊から54年・・・なおかつ現役でご活躍されております。お話を聞かせて頂けるかなと期待しながら、さっそく厚かましく「活動の源」を知りたくて「にっこり」に寄稿頂きました。人それぞれ、生き方考え方等違って当然ですが、元気でいたいと思う気持ちは皆同じだと思います。マイナス要因も考え方の方向転換をすれば違ったものに気づかれるのでは…。今を乗り切ってください。



「東大和市防犯協会」会長からのお願い

便利な時代になっているのに、不便を感じるのはなぜでしょう。高齢者の仲間入りしているからだけでは無い...? のでは。

先日、防犯協会の募集が有り、回覧をさせて頂きましたが、改めてお願いします。高齢者が町の安全を守っていると言っても過言ではなく、当地域も同様です。便利の裏には理解出来ないまま進む怖さもあると思われま。

「東大和市防犯協会」は、地域の安全と安心を願い年間を通して南街の町をパトロールしています。南街支部長/坪池氏は、「会員の高齢化、仕事の関係等でボランティア活動して下さる方が少なくなり悩むところです。」と、話されていました。

坪池氏は、子ども達の安全を願い、時間の許す限り地域を守りたいと思う信念からでしょう。私が知る限りでも PTA 会長をされた頃から数えて30余年、防犯協会、民生委員、老人会他、諸々の地域活動に貢献され今日に至っていらっしゃる。

やはり高齢化していることで会員不足が現状とのこと、10年前に頑張ってくれた人も限界が近くやはり世代交代したいところでしょう。

子育てや仕事で忙しい世代の方々、目の前の忙しさは理解できますが、わずかな時間でも地域に関わることで周りの景色が変わる気がします。地域に若い力をお貸しください。

子供を見守りながら人の輪を地域の輪を広げて下さい。m(_ _)m

仕事オンリーで定年を迎えるお父さん(失礼)、ボランティア参加で地域の輪を広げ、繋いで行って欲しいです。



コロナ感染症の症状と経路



コロナウイルス感染の第4波到来
変異株増えています。菌も長引けば強く変化することでしょう。自分の身を守る手段を取って暮らしましょう。
校正佐藤 編集責任 大月

令和3年度

「コロナ禍でのスタート」

新役員委員会は、4月11日(日)22名の出席で行われました。規約の中に記述して有るように自治会に於いての、総会に代わる本委員会です。

昨年度の、活動報告や会計報告に対し活発な質問や「意見がありました。皆様方が、真剣に向き合っている姿が感じられ、意欲のある会議だったと思います。時間が足りなく説明不足になった感があります。」

ソーシャルディスタンスを保ち、何が出来るか、何をしなければならぬのかを考えながら、住みやすい環境に「一歩でも近づけられる」ことを望んで進んで行こうと思います。

新年度早々、会費納入の「協力あり」といっています。昨年引き続き、「コロナ禍ですが、活動予定は立てさせて頂きました。予定通りの活動は難しいと推測されます。そうならぬ様、「コロナ禍孤立」と言えは大変残念です。

会長	大月 孝彦
副会長	山内 益夫
会計	大館 繁
会計監査	赤木 歩
相模役	水口 英夫
	堀木 三照
	推野 彰夫
	小西 昭夫
組役員	1, 2, 3, 12
	岩田 美智子
	佐藤 重夫
	横山 康夫
	町田 弘
	高橋 伸一
	神谷 福次
	関 清一
	尾池 淑恵

令和3年度役員・組役員紹介

企画運営委員
ふれあい交流実行委員会
委員長 推野 彰夫
副委員長 山内 益夫
祭礼委員会
委員長 小西 昭夫
副委員長 石丸 将晴
防災推進委員会
委員長 山内 益夫
チームリーダー 赤木 歩
女性班(ひまわり)
サロンの活動
ふれあい市民運動会

昨年度の組役員様、お疲れ様ありがとうございました。

企画運営委員とは...自治会の各イベントを実施するにあたり、企画運営に努めています。

小さな力も集まれば...

赤木 歩 氏 (新・副会長)

震災や災害、ウイルス感染症など、予期せぬ緊急事項に囲まれる中、やがて定年を迎えた時、家族だけの単位ではあまりに小さく、非力です。子供を育てるのに、たくさんの方の協力を得てきたように、これからは少しでも地域の方々と繋がり、皆さまと共栄し、リレーしていくことが大切だと考えるようになりました。「一人で出来ることは小さくても、出来ることから、出来るときに参画する。」自治会役員デビューの第一歩かと思っています。右も左も分かっていませんが、皆さまからのご指導とご鞭撻を是非とも賜りたく、これから、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

イベント開催時、いつもお手伝いを頂いている赤木氏、土井氏が転勤にて不在となりました為、推薦を頂いておりました赤木氏に副会長をお願い致しました。凄くまじめな印象が強く物静かなイメージですが、明るく頼りになる方です。「にっこり」ペット紹介で、掲載させて頂きましたリン(犬種・種)ちゃんのご主人様(〆)アウトドアがお好きかな(?)と拝見!! 新しいパワーに期待します。宜しくお願い致します。

「こんにちは、皆様には日頃お世話になっております。」と話されたのは、詩吟をなさっている組役員さんのお一方。以前に詩吟をやられているとこのことを伺っていたので、始められたきっかけを聞かせて頂きました。始めたきっかけは、師匠や友人に勧められてですが、ボケ防止に役立つと思えました。流派は、「選人流詩歌吟詠」です。発声練習や節調が主なお稽古です。難しいことは...(?)普通のお稽古と変わりませんが、楽しいことはいっぱいあります。特に、大勢の仲間と接する機会が多いことかな。この流派には、俳句、和歌、吟詠などが含まれています。公民館、ハミングホール、東京大会、九段会館、コロンビア全国大会等で発表会もありました。現在は、師匠が身体上の都合で解散しましたが、生徒だけで仲間の絆で繋がって楽しく続けています。心麗(尾池)

詩吟でお腹から声を出す。自ずと腹筋や肺が鍛えられて健康には何よりですね。しかも、「継続は力なり」です。いつまでも続けられますように。♡